



21世紀減災社会シンポジウム

阪神・淡路大震災30年

～「大災害の時代」へ継承すべきこと

2025年1月に阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」、防災報道を重視してきた「朝日新聞社」、兵庫県の地域報道を担う「神戸新聞社」は連携して震災後30年の歩みを振り返るとともに能登半島での災害対応に生かされた教訓と今なお残る課題を考察します。

写真提供：神戸新聞社

日時

令和7年2月8日(土)

13:30～17:00

場所

神戸朝日ホール

(神戸市中央区浪花町59)

+YouTube
ライブ配信

プログラム

開会挨拶 13:30～13:45 朝日新聞社、神戸新聞社、兵庫県

基調講演 13:45～14:45

被災地からの報告 14:45～15:00



「大震災30年～震災を振り返り、これからの災害に立ち向かう」

むろさき よしてる
室崎 益輝 (神戸大学名誉教授)



「能登半島地震から1年～現地からの報告」

うえだ まゆみ
上田 真由美 (朝日新聞社金沢総局記者)

パネルディスカッション 15:10～17:00

テーマ 「能登へ、南海トラフへ～新たな世代が引き継ぐ教訓と課題」

パネリスト



さかもと まゆみ
阪本 真由美

(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)



かどわき ゆきこ
門脇 幸子

(兵庫県教育委員会震災・学校支援チーム EARTHメンバー/
西宮市立浜脇小学校栄養教諭)



よりまさ りょうた
頼政 良太

(被災地NGO協働センター代表/関西学院大学人間福祉学部助教)



ながぬま たかゆき
長沼 隆之

(神戸新聞社論説委員室副委員長)

パネルディスカッション・コーディネーター



みくりや たかし
御厨 貴

(ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長/東京大学名誉教授)

参加無料

事前申込が必要です

裏面のQRコードまたはURLから申込をお願いします。

